

# 19 漢文2 内容を理解する

組	
番号	
氏名	

1 次の文章を読んで、問いに答えなさい。

〔平成十五年 宮城県公立高校入試問題〕

宋人<sup>そうひと</sup>に、其<sup>そ</sup>の苗<sup>なえ</sup>の長<sup>なが</sup>ぜざるを<sup>を</sup>悶<sup>うれ</sup>ひて、①之<sup>これ</sup>をぬく者<sup>もの</sup>有り。芒芒然<sup>ぼうぼうぜん</sup>として  
 歸<sup>かへ</sup>り、其<sup>そ</sup>の<sup>に</sup>人<sup>ひと</sup>に謂<sup>い</sup>ひて曰<sup>いは</sup>はく、今日<sup>けふ</sup>は病<sup>つか</sup>れたり。苗<sup>なえ</sup>を助<sup>たす</sup>けて長<sup>なが</sup>ぜしむと。  
 其<sup>そ</sup>の子<sup>こ</sup>趨<sup>はし</sup>りて往<sup>ゆ</sup>きて之<sup>これ</sup>を視<sup>み</sup>れば、苗<sup>なえ</sup>は則<sup>すなは</sup>ち槁<sup>か</sup>れたり。

（「孟子」による）

※悶<sup>うれ</sup>ひて：心配して。

之<sup>これ</sup>をぬく：苗のしんを引きのばす

芒芒然<sup>ぼうぼうぜん</sup>として：疲れきって

① 右の文章中から、「①之<sup>これ</sup>をぬく者」の発言にあたる箇所を抜き出し、はじめと終わりを、それぞれ三字で書きなさい。（句読点を含む。）

今日は

ぜしむ

【注】会話文の書き表し方の特徴を覚えよう。

「〜が言うには、・・・と。」のように、**会話文の直後には助詞「と」が続くことが多い。**

② 右の文章中に「②其の子趨りて往きて」とありますが、このときの「其の子」の気持ちを表す言葉として最も適切なものを、次のア〜エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 歓喜
- イ 不安
- ウ 興味
- エ 落胆

イ

③ 右の文章から、「助長」という言葉が生まれました。「助長」の意味として、本文の内容に最も近いものを次のア〜エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア ある物事の勢いを回復しようと、手助けをしてくるすること。
- イ ある物事の発達を促すために、家族の者が手助けをすること。
- ウ ある物事の成長を速めようとして、力を添えだめにする事。
- エ ある物事の達成をめざして、若者が年長者に助言をすること。

ウ

【調】「助長」は故事成語（中国の古い伝説や出来事をもとにしてできた言葉）。故事成語については、一年生の学習を振り返ろう。